

教科・科目	情報・情報Ⅰ	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程の読み替え科目：社会と情報				

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解をする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付ける。
使用教科書 副教材等	新編情報Ⅰ（東京書籍）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けている。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1章 情報で問題を解決する 2章 情報を伝える 3章 コンピュータを活用する	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	4章 データを活用する 5章 活動して提案する	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前4回、後1回～後4回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録			添削担当者			先生		登録			
スクーリング 回数		学 習 内 容	レポート					スクーリング実施日			
			回	提出日・合格				日 S	月 S	火 S	木 S
前期	①	1 章 情報で問題を解決する 情報モラル 個人情報の流出	前 1	1		2		4/20	—	4/22	4/17
				3		4					
	②	傷つかない傷つけないために 著作権	前 2	1		2		5/11	—	5/13	5/8
				3		4					
	③	この回は、実施されません。									
	④	2 章 情報を伝える コミュニケーション手段の変化 ネットコミュニケーションの特徴	前 3	1		2		6/8	—	6/10	6/5
		3			4						
	⑤	デジタルの世界へ 音と画像のデジタル表現					6/22	—	6/24	6/19	
	⑥	3 章 コンピュータを活用する 演算の仕組みとコンピュータの限界 アルゴリズムの表現	前 4	1		2		7/6	—	7/8	7/3
	3			4							
⑦	プログラムの基本構造 1 プログラムの基本構造 2					7/20	—	7/22	7/17		
試験	レポート前 1～前 4 の内容		本 試 験		追 再 試		8/17	—	8/19	8/21	
後期	⑧	4 章 データを活用する インターネットの仕組み サーバとクライアント	後 1	1		2		10/12	—	10/14	10/9
				3		4					
	⑨	インターネット上のサービス 情報セキュリティ	後 2	1		2		10/26	—	10/28	10/23
				3		4					
	⑩	データの形式 データベースの活用	後 3	1		2		11/9	—	11/11	11/13
		3			4						
	⑪	データ分析の流れ 目的に合わせたデータの利用					11/23	—	11/25	11/20	
	⑫	この回は、実施されません。									
	⑬	5 章 活動して提案する データ量の見積もり ピクトグラム	後 4	1		2		12/21	—	12/23	12/18
		3			4						
	⑭	パケット通信の体験 データの分析					1/11	—	1/13	1/8	
試験	レポート後 1～後 4 の内容		本 試 験		追 再 試		1/25	—	1/27	1/22	

6 先生からのメッセージ

情報Ⅰでは、情報の見方・考え方を働かせコンピュータやデータの活用方法について学習します。授業で学んだことが、日常生活のどの場面で活用できるかを常に考えながら、情報社会に主体的に参画する態度を身に付けるため、積極的にスクーリングに出席しましょう。